



815号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



11月13日(木) 10:00~10:30 検数労連第2回 25冬季一時金交渉 25冬季一時金スト権97%以上の賛成票獲得！ 組合員の圧倒的支持を受け要求に弾みをつける！

【25冬季一時金スト権全国投票結果】

地区名	項目	賛成	反対	白紙	棄権	合計
全 国	冬季一時金	984	10	4	8	1006
	諸要求	987	6	5	8	1006

【第2回一時金交渉】

25冬季一時金スト権確立に向け、10月31日(金)から11月12日(水)正午までを投票期間として中央集約をおこなった結果、左記の表の通り全国投票総数1006票中、25冬季一時金要求項目で賛成票984票、諸要求987票、各項目において賛成票が97%以上となり25冬季一時金スト権を高率で確立しました。

結果を両協会に通知。同時に次の通り主張を行ったうえで今日以降、スト権を背景にした闘争を構築していく旨を主張し、組合要求に沿った回答の構築を求めました。

【組合主張】

先日開催された検数労連代表者会議では、25冬季一時金要求と同時にスト権についても確認し、昨日までを集約期間として取りまとめた結果、25冬季一時金要求・諸要求ともに97%以上の高率で確立した。

25年度上半期の港湾情勢を見ると、コンテナ関係での落ち込みが懸念されるなどではあるが、この間、パートナーシップによる価値創造の価格円滑化施策による適正料金収受の取り組みなどで、両協会ともに一定の収益は確保できていると思っている。また、両協会ともに人員不足のなかで働く組合員の期待が今冬季一時金スト権の投票結果に出ている。

両協会においては組合員のスト権投票の結果に心えるべく組合要求に沿った回答の構築を強く求める。今冬季一時金交渉とは別に地域によっては職場の諸要求を提出して協議している地域もある。そのような地域に対しても指導的立場にある本部が誠意ある回答をするよう各支部に指導するよう求める。

ストライキって何？

- 1 ストライキとは
労働者が要求を貫徹するために仕事を放棄すること
- 2 根拠
団体行動権の行使として憲法28条で保障
- 3 ストライキの目的
団体交渉による労働条件の対等決定を実現すること
- 4 ストライキの効果
刑事免責、民事免責、不利益取扱いの禁止

【東北検数労連オルグ】

10月24日(金)マリンゲート塩釜で東北検数労連オルグを開催し、検数労連中央から石橋委員長・山田副委員長・高木書記長の三名を派遣しました。主催者側の東北検数労連は仙台で働く組合員を中心に12名が参加しました。オルグの内容では、産別課題(独

禁法・放射線
量測定業務・
年末年始例外
荷役)と25冬
季一時金につ
いて報告を行
ったあと、職
場課題など
について意見
交換を行いま
した。

意見交換の
なかで、参加



次回交渉:第3回検数労連25冬季一時金交渉

11月20日(木)10:00~

次回交渉では、25冬季一時金に対する考え方や両協会の収支状況・見通し等の披歴を求めています。



者からは、東日本大震災やウクライナ紛争の影響等で働き方や業務の変化が顕著に表れているなか、中央・地区での認識を深めながら様々な問題点や改善点を経営側に訴えていくことが重要ではないかといった意見などが出され、中央と地区の更なる連帯の強化の重要性などが再認識された東北検数労連オルグとなりました。